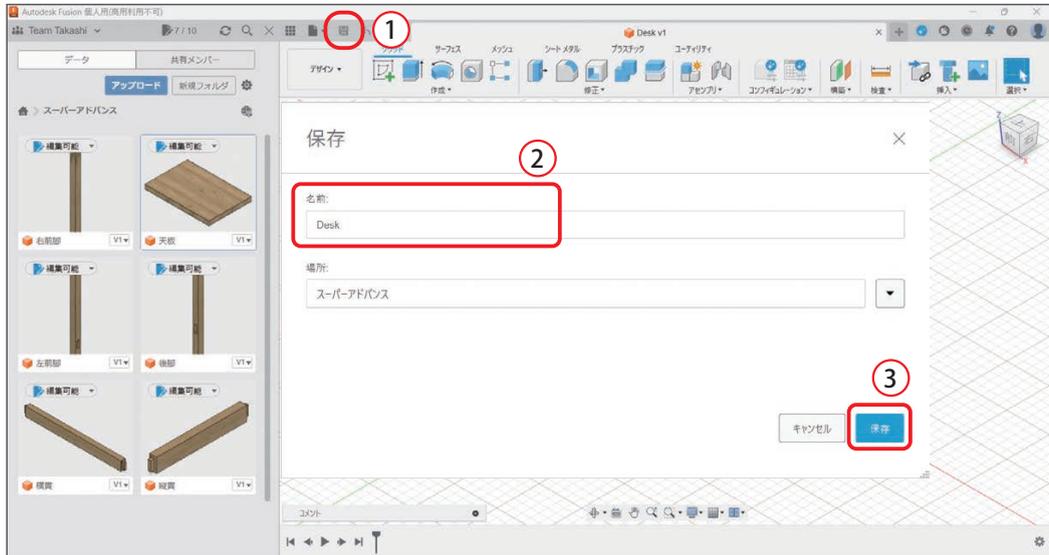


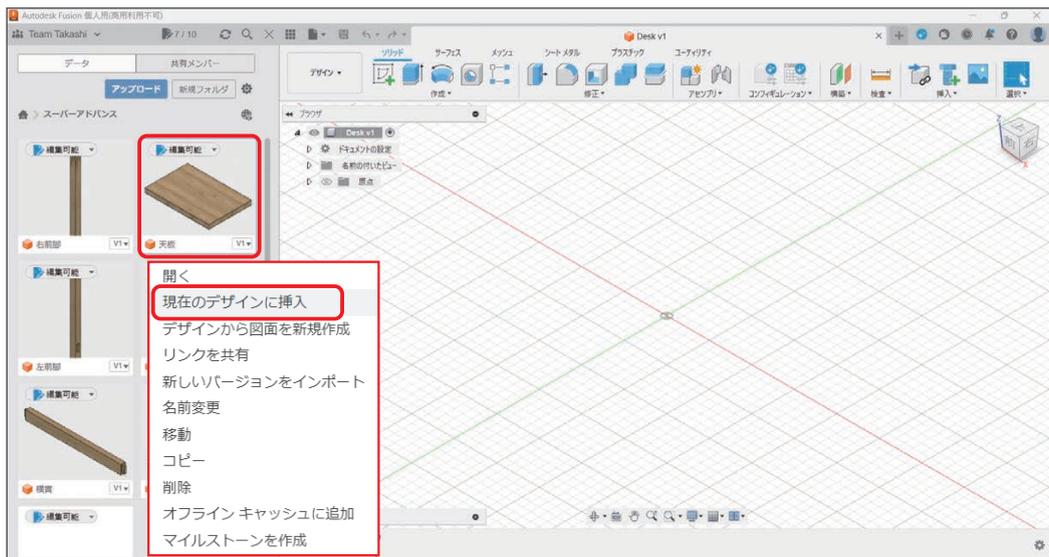
## 2.4 アセンブリデータの作成

[ファイル] - [新規デザイン] で新しいドキュメントを開き、[ファイル] - [保存] で、ダウンロードファイルをアップロードしたプロジェクトと同じプロジェクト内に保存します。



アセンブリファイルとして複数部品を挿入するドキュメントは、保存してある必要があります。

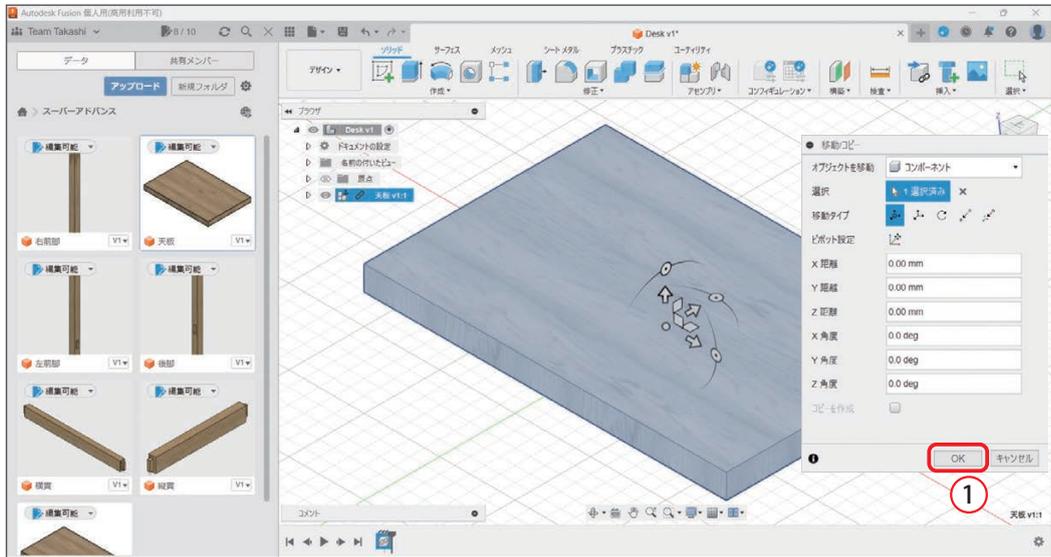
データパネルから「天板」を右クリックし、[現在のデザインに挿入] を選択します。



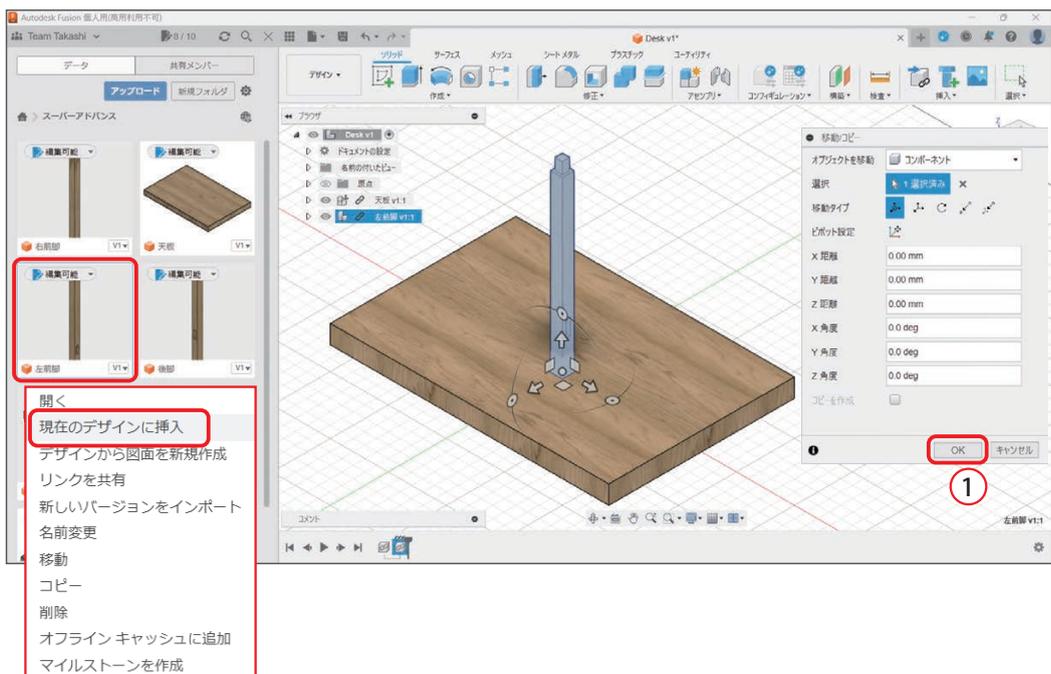


データパネルからファイルを画面上にドラッグ＆ドロップすることでも挿入できます。

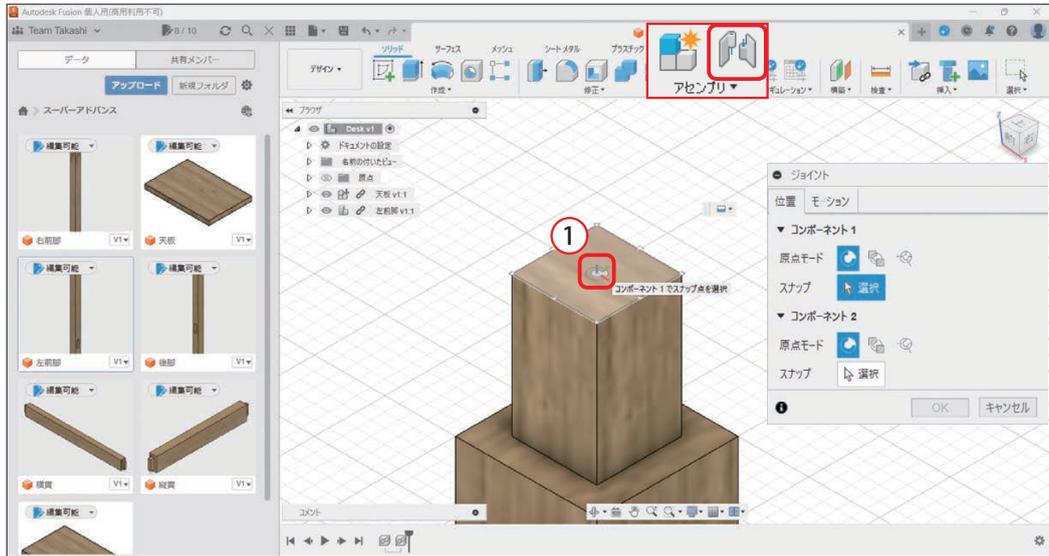
[OK] を選択し、天板を配置します。



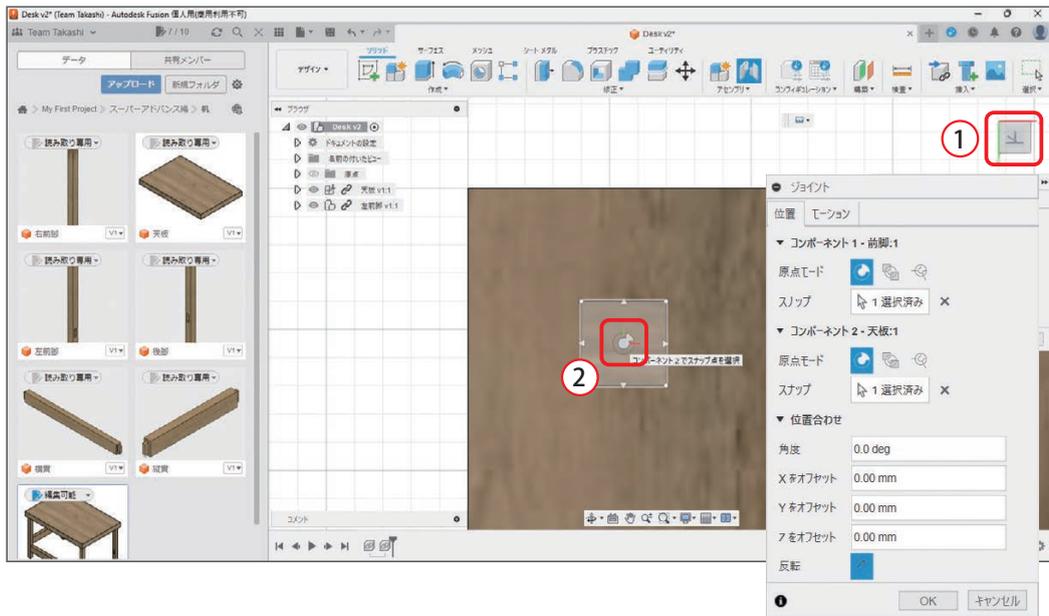
データパネルから「左前脚」を右クリックし、「現在のデザインに挿入」を選択して配置します。



[アセンブリ]-[ジョイント]を選択し、コンポーネント 1 として左前脚の接合面の中心のジョイント原点を選択します。

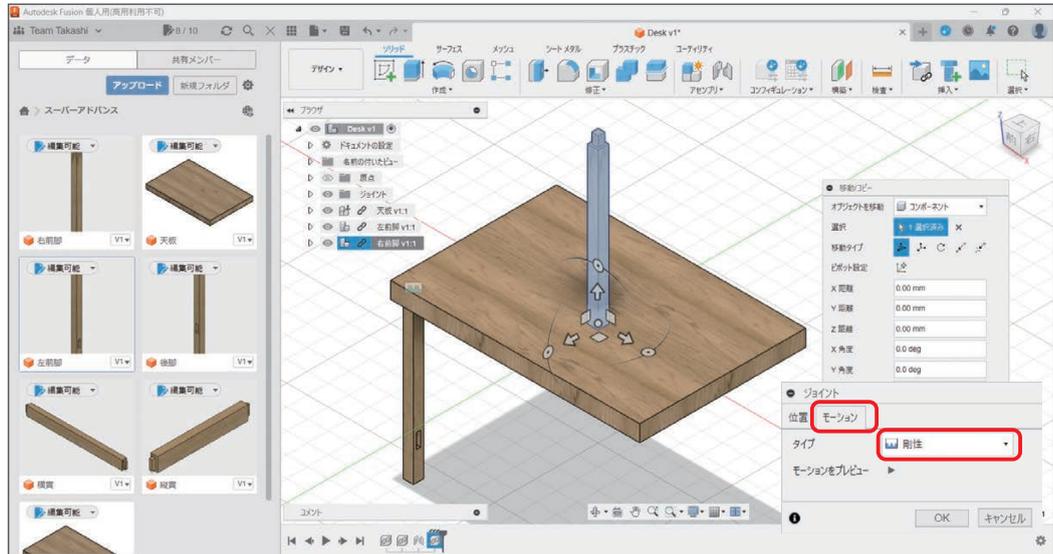


下から見た画面にし、コンポーネント 2 として机裏面の脚挿入部の中心のジョイント原点を選択します。

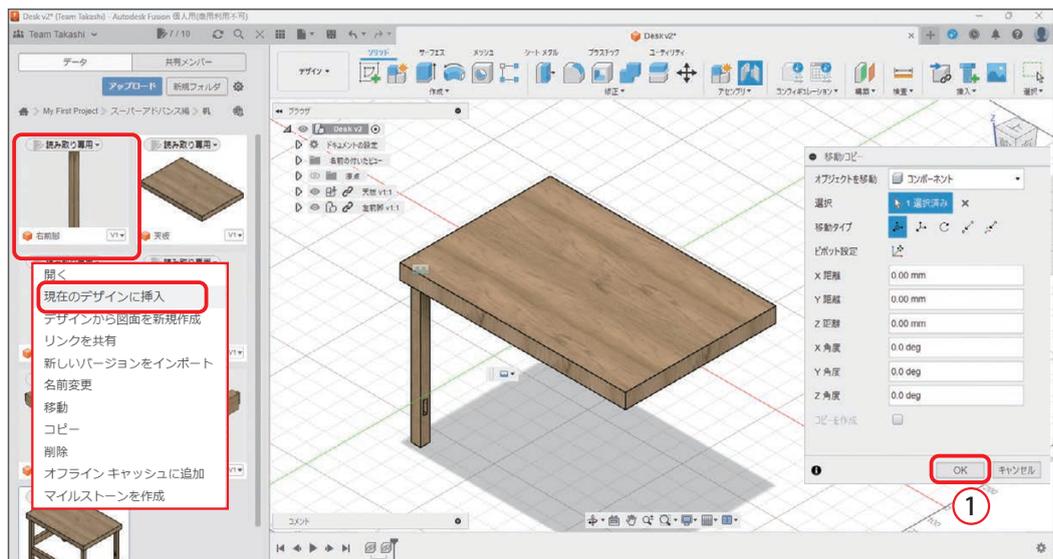


マウスを乗せると表示されるマークは「ジョイント原点」と呼ばれるものです。配置する部品のジョイント原点と、配置先の部品のジョイント原点の向きを合わせることで部品を正しい位置に配置できます。

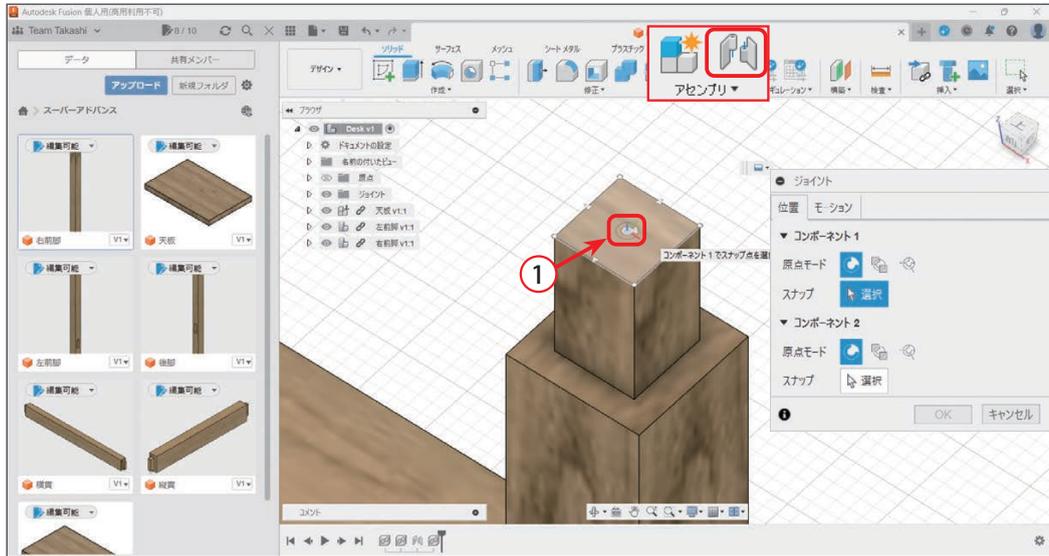
貫を差し込む挿入部が内側に向いていることを確認し、[モーション] タブに切り替えて「タイプ」を「剛性」に設定して確定します。



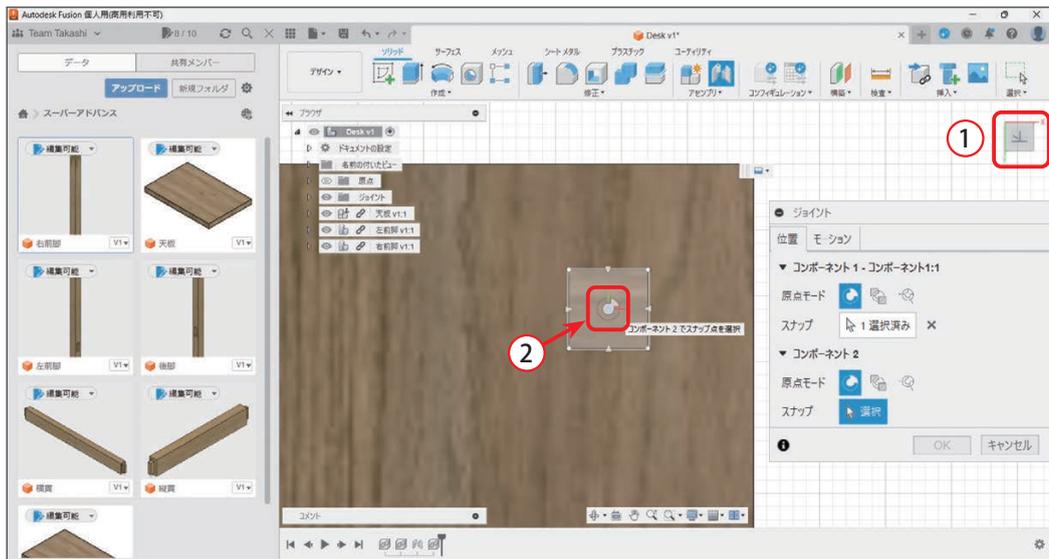
データパネルから「右前脚」を右クリックし、[現在のデザインに挿入] を選択して配置します。



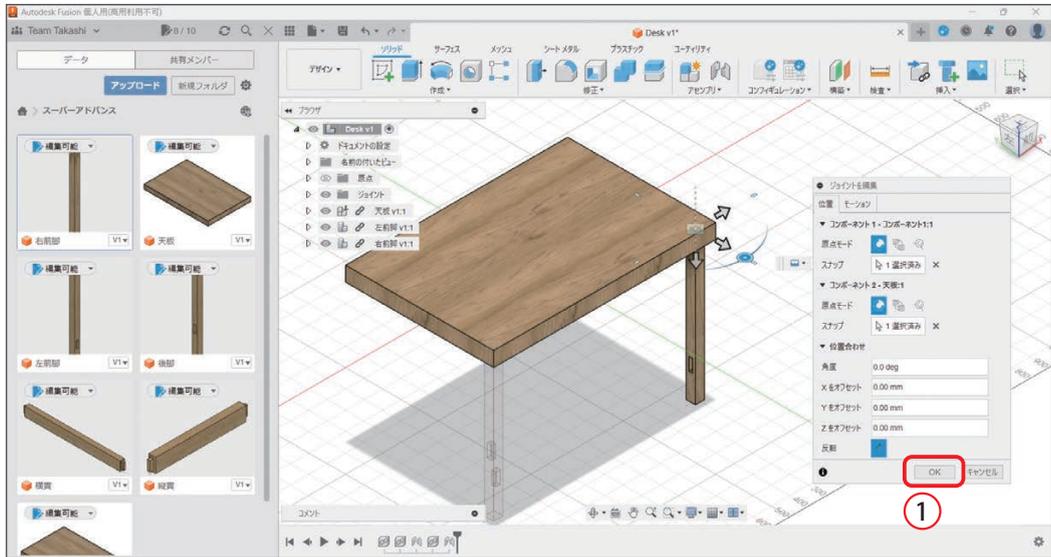
[アセンブリ] - [ジョイント] を選択し、右前脚の接合面の中心のジョイント原点を選択します。



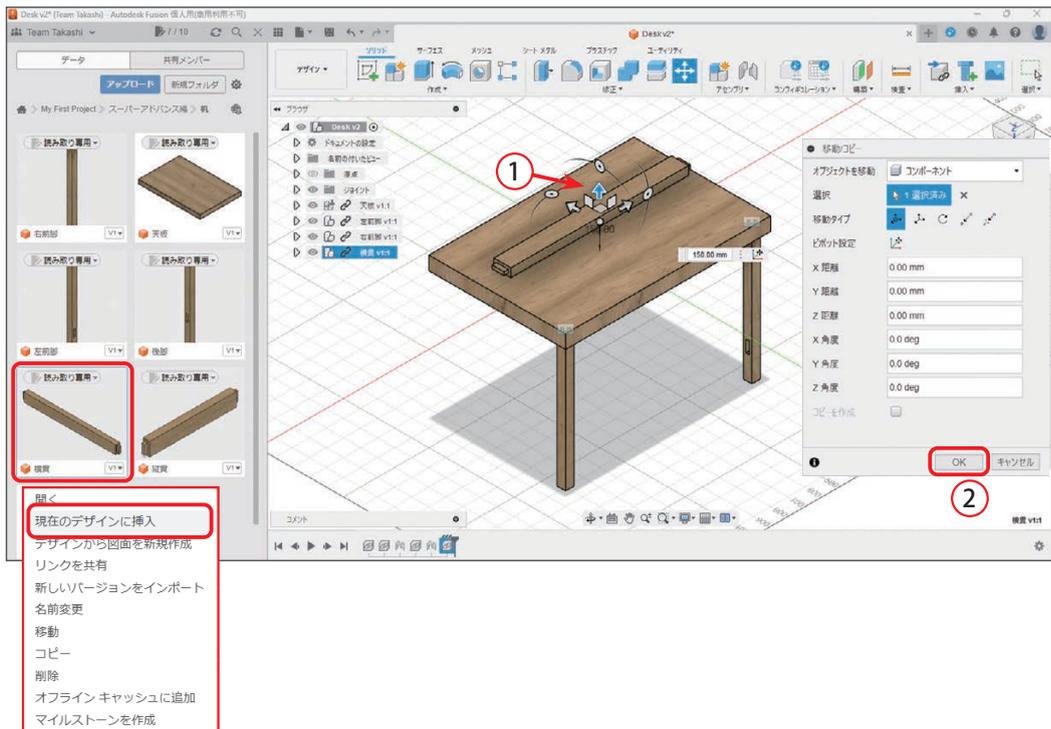
下から見た画面にし、机裏側の脚挿入部の中心のジョイント原点を選択します。



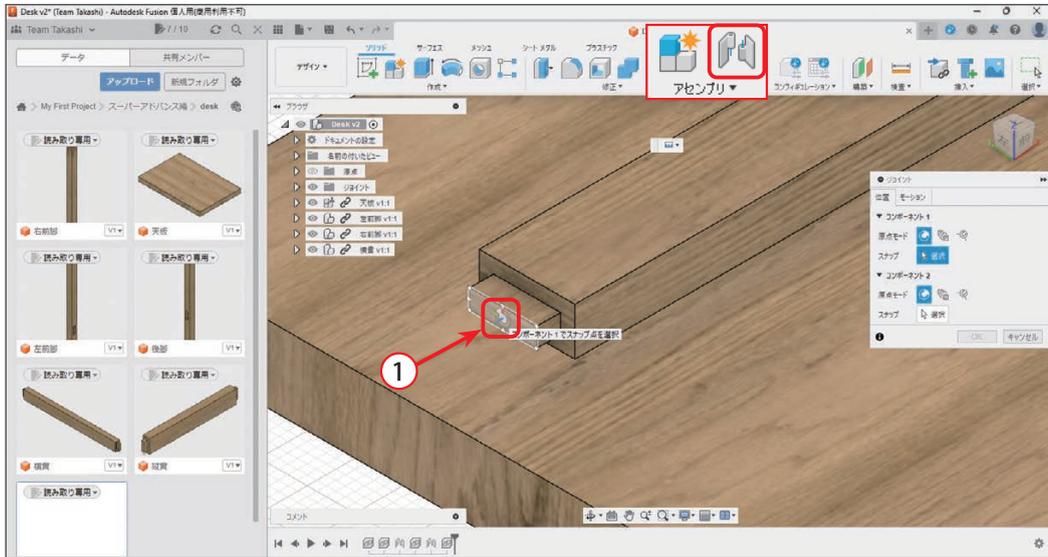
貫を差し込む挿入部が内側に向いていることを確認し確定します。



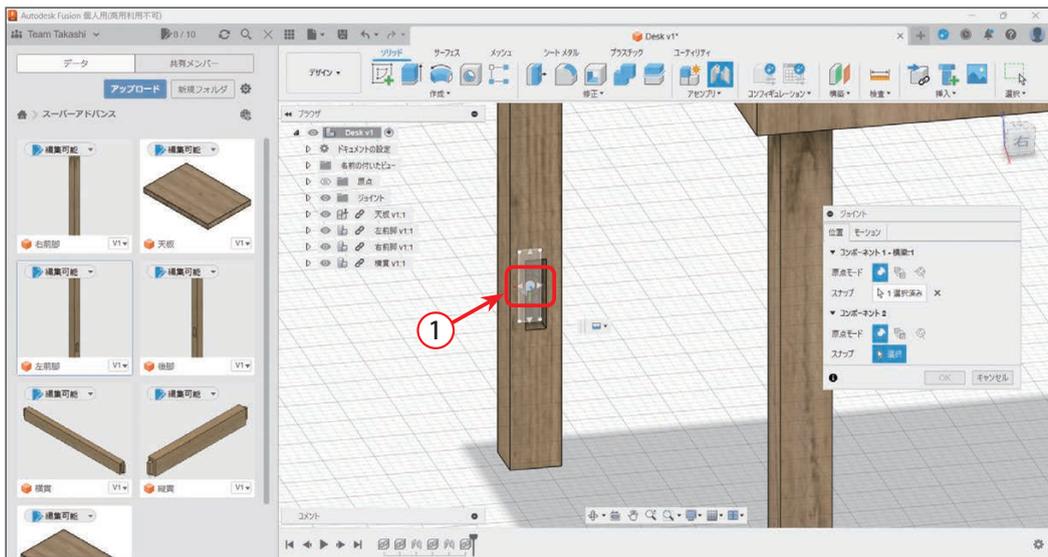
データパネルから「横貫」を右クリックして「現在のデザインに挿入」を選択し、挿入部が見えるように上に 150 mm ほど移動させて配置します。



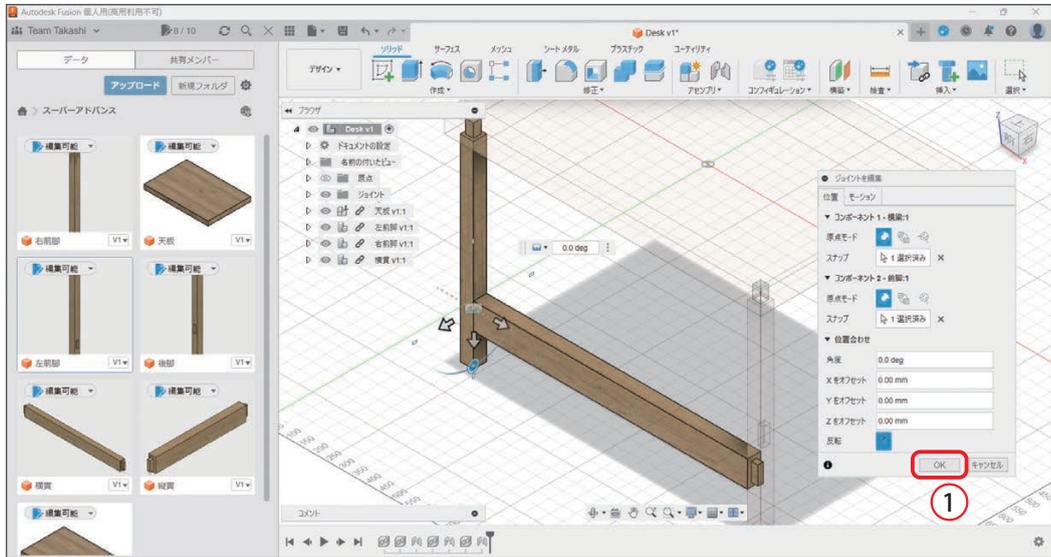
[アセンブリ] - [ジョイント] を選択し、横貫の接合面の中心のジョイント原点を選択します。



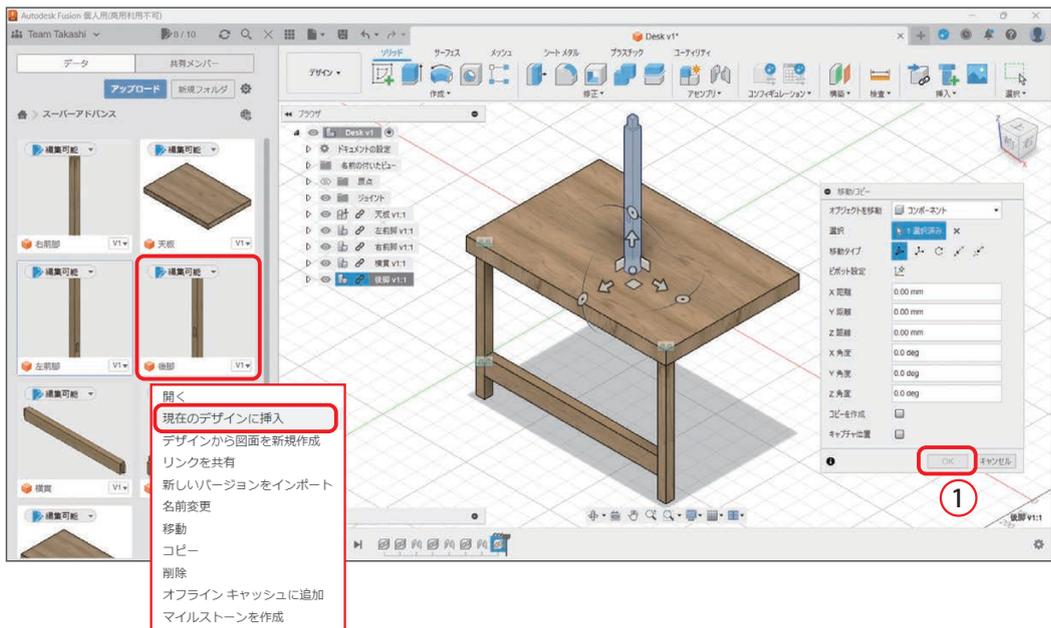
前脚内側の挿入部の中心のジョイント原点を選択します。



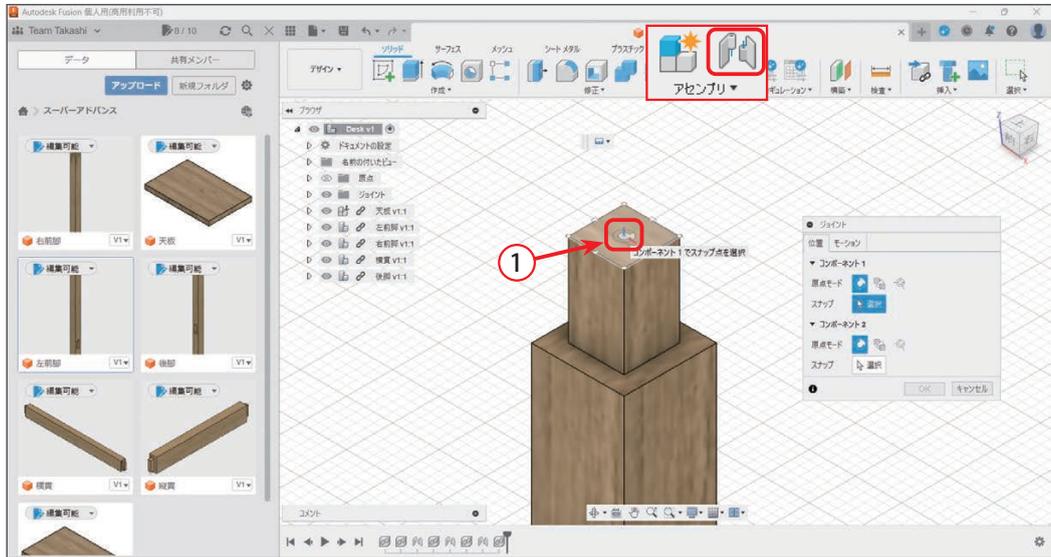
位置を確認し確定します。



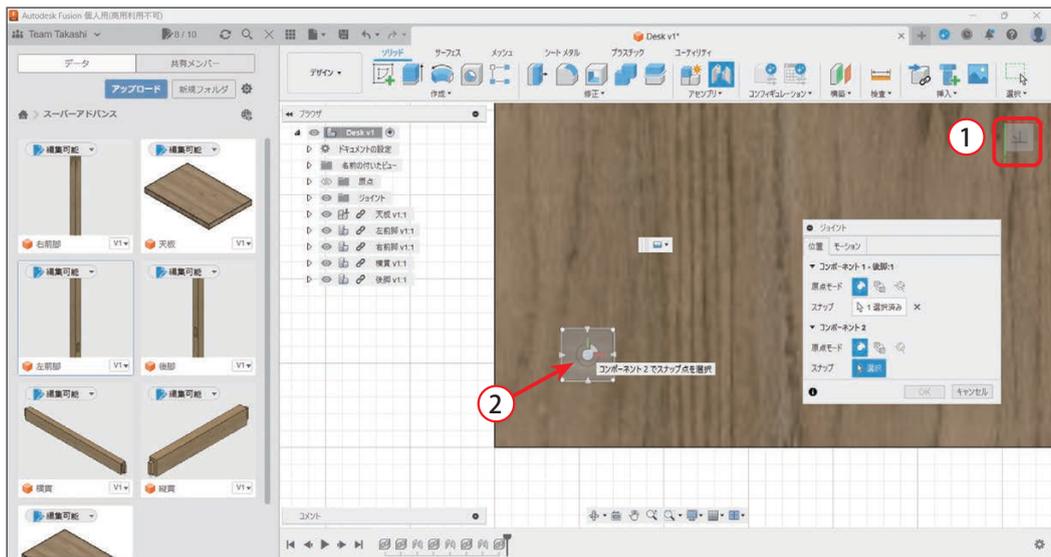
データパネルから「後脚」を右クリックし、「現在のデザインに挿入」を選択して配置します。



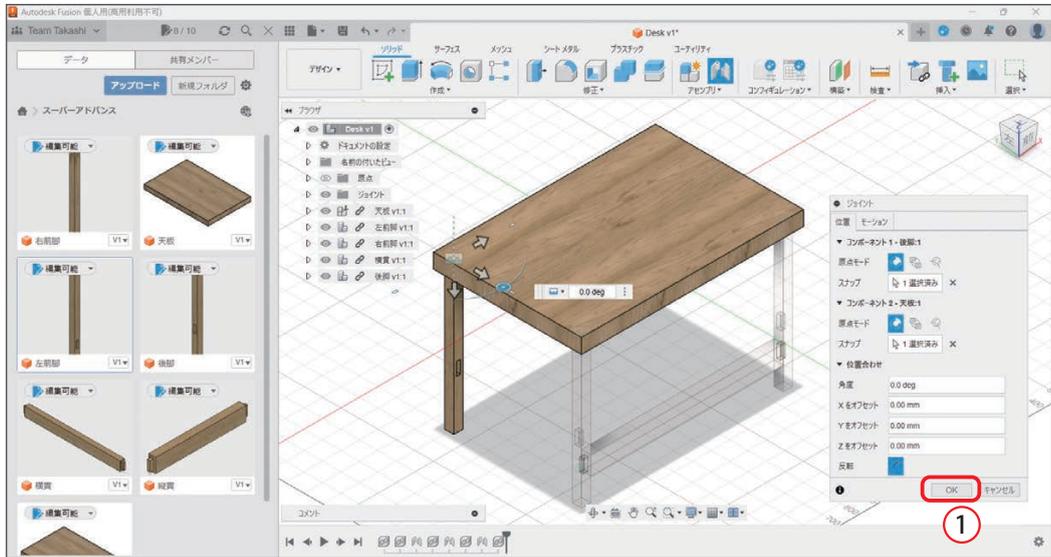
[アセンブリ] - [ジョイント] を選択し、後脚の接合面の中心のジョイント原点を選択します。



下から見た画面にし、机裏側の脚挿入部の中心のジョイント原点を選択します。



位置を確認し確定します。



データパネルから「後脚」を右クリックし、「現在のデザインに挿入」を選択して配置します。

